

日本の空を支える

Civil Aviation Bureau
国土交通省 航空局

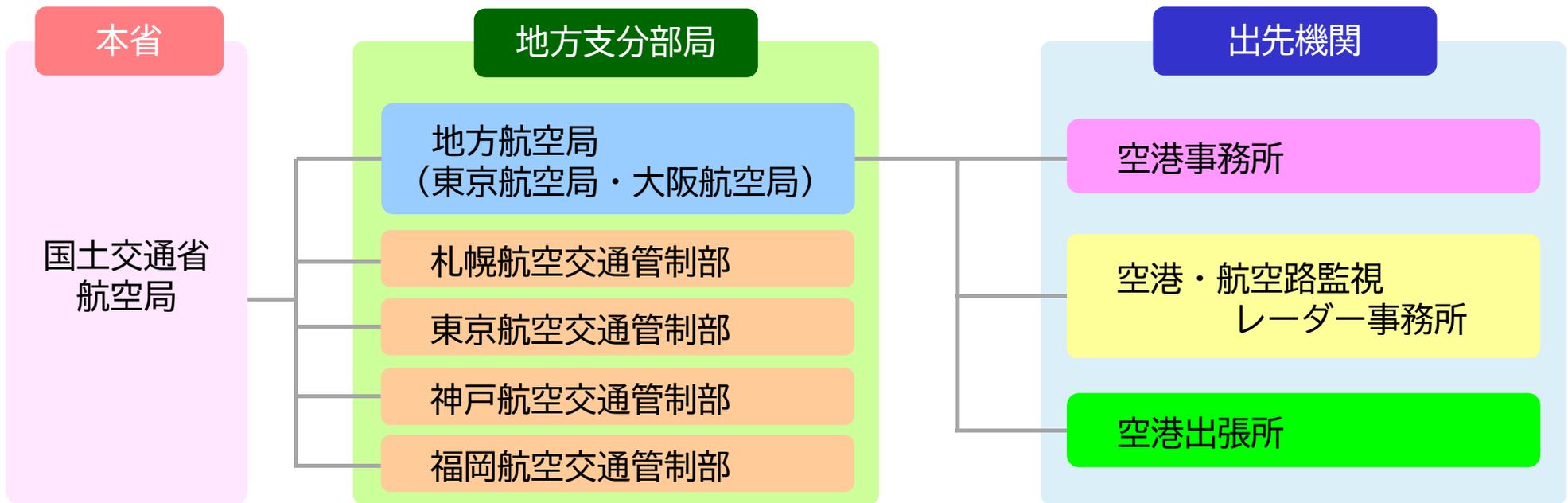


空港技術職(機械職) 業務紹介

 大阪航空局 空港部 機械課



航空局の組織



国土交通省航空局には、6つの地方支分部局があり、地方航空局には空港事務所などの出先機関があります。とりわけ、航空交通管制部や空港事務所などでは、航空輸送の現場として航空の安全確保を最優先課題としつつ、航空サービスの向上を目指して日々、業務を行っています。

機械職員の役割

航空輸送には様々な施設や業務が必要



管制塔・庁舎



ターミナル施設



駐車場施設



航空灯火施設



無線施設



レーダー施設



飛行場管制業務



ターミナル管制業務



対空援助業務

機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています

空港は、滑走路や誘導路などの航空機の離着陸に必要な基本施設、旅客の乗降や貨物の積み降ろしを行う空港ターミナル施設、航空機の離着陸を援助するための航空保安施設、管制を行うための管制施設、庁舎や管制塔などの管理施設、鉄道やアクセス施設等から構成されており、これら多くの施設や設備が一体となって機能することによって安全な航空輸送を支えています。

機械職員は、機械施設の管理・運用や機械施設の整備・維持管理業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督など幅広いものとなっており、機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています。

機械職員の主な業務

機械職員の主な業務は、国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な電源設備や空調・給排水等の機械施設の整備・管理・運用及び消火救難車両等の特殊車両の製造・保守です。

実際の保守や工事等は民間に発注する為、発注作業や監督が主となります。

■ 機械施設の概要

航空無線施設等
航空管制施設等
航空灯火施設等

空港施設

機械施設

発電設備

非常用発電装置

無停電電源設備

UPS（無停電電源装置）

無線関係
付帯電気工作物

無線施設やレーダー施設等の受配電設備

建築設備

空調設備、給排水設備、昇降機設備などの建築物付帯の機械設備

機械設備

上水道施設、雨水排水設備、汚水中継ポンプ、トンネルジェットファン等

特殊車両

化学消防車、救急医療搬送車等の消火救難車両、除雪車



非常用発電装置



無停電電源装置



受配電設備



機械施設管理保全システム

航空輸送の安全安心を支える電源設備と監視システム



空調設備



給排水衛生設備、消火設備

庁舎・管制塔などの建築設備



空港排水設備



トンネル
ジェットファン

空港機能を担う機械設備



化学消防車



化学消防車
高位置対応伸展型

万が一に備える消火救難車両

発電設備及び無停電電源設備

発電設備



無停電電源設備



可搬形発電設備



自然災害をはじめ航空保安施設等における電源障害時の電源確保のため展開される、運搬が容易な発電設備。

空港や航空保安施設の電力供給がストップするとその機能はマヒし、大混乱をきたします。

そのため、空港などには非常用発電設備を備えています。

また、管制情報処理システムなどの電算システムは、一瞬の停電も許されないため、無停電電源設備（UPS）を介した無瞬断の電源を供給しています。

航空保安施設用の電源設備は、国際基準や航空法に基づき、信頼性の高いシステムが求められています。

建築設備及び機械設備

建築設備



機械設備



- 国が管理する庁舎、航空保安施設などには、空気調和設備、昇降機設備、給排水衛生設備等の建築設備を設置しています。航空管制システムのサーバ機器室用空気調和設備は、安定した温度管理を行うために、複数台の空調機により信頼性の高いシステムを構築しています。
- 空港には、雨水排水ポンプ、上下水道施設、消防水利施設、トンネルジェットファン等の空港の運用に必要な機械設備を設置しています。

空港用特殊車両

空港用消火・救難車両

High Reach Extendable Turret Type (HRET)

Roof Turret Type



化学消防車



化学消防車



救急医療搬送車



給水車



救難照明車

空港用除雪車両



高性能スノープラウ除雪車



高性能ロータリー除雪車



高性能スノープラウ除雪車



高性能スノースイーパー除雪車



- 空港には、万一の航空機事故に備え空港用化学消防車、救急医療搬送車などの消火・救難車両を配備しています。また、積雪からいち早く滑走路等を使用可能とするために空港用除雪車両を配備しています。
- 空港用の特殊車両は、一般用と比べて非常に大きく、高い走行・消火・除雪性能が求められ、特に空港用化学消防車は国際基準を満足する必要があります。

機械施設のブロック管理

管理センター ブロック



機械施設の管理

監視

機械施設の運転状況を24時間、常に監視し運用状況を的確に把握します。

管理・予防保全

機械施設のデータを管理し、解析することで、障害発生を防止し、故障時も早急に復旧を行います。

制御

遠く離れた場所からでも各機械施設をコントロールします。

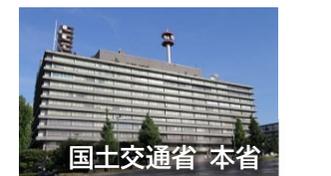
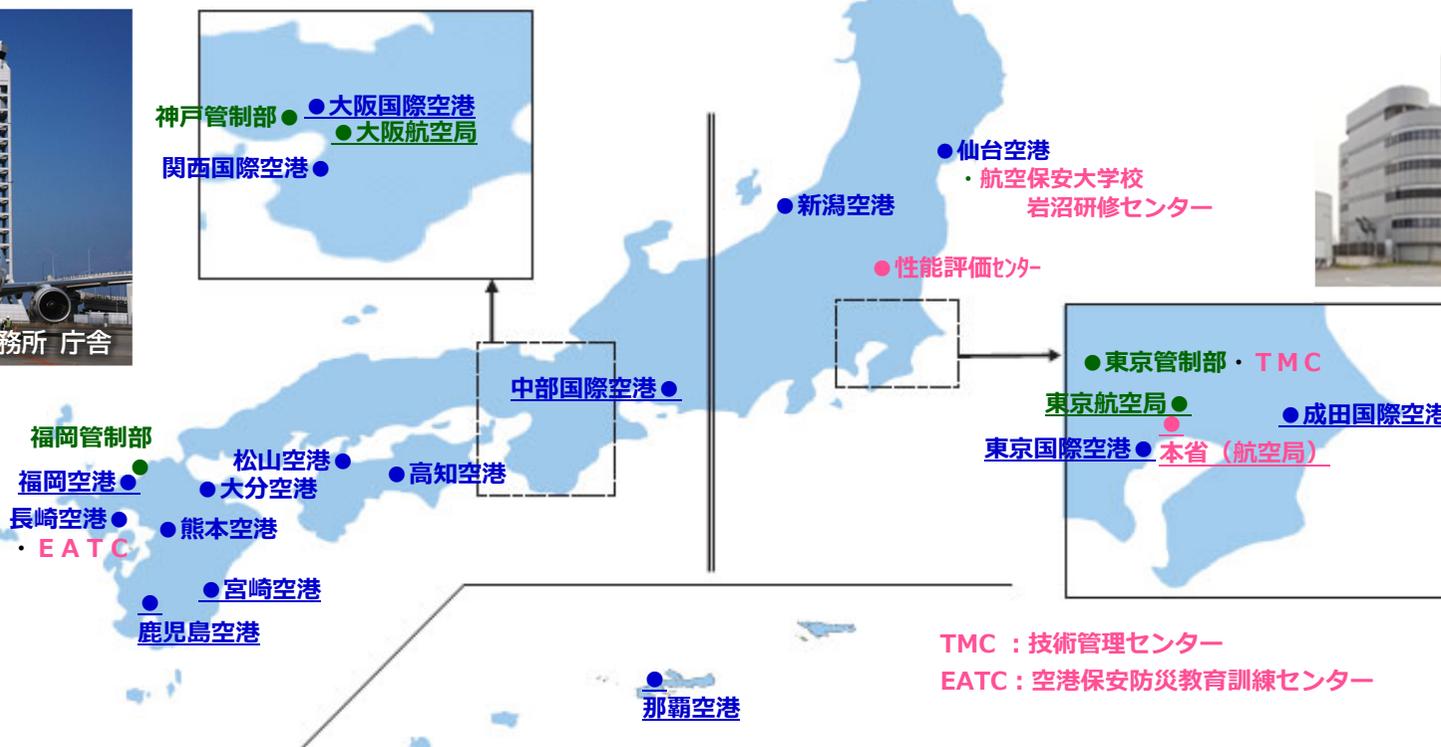
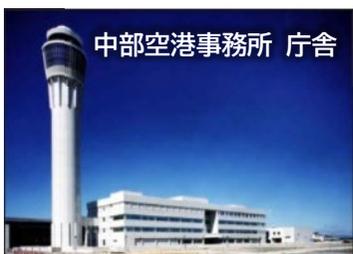
- 全国に点在する機械施設の管理は、5ブロックに区割りされた各管理センターにより行われています。
- 各管理センターには、機械施設を遠隔で監視・制御を可能とする機械施設管理保全システムを設置し、リアルタイムで機械施設の状態、故障の有無等の把握、故障の予知・診断を可能としています。
- 管理センターの勤務は、24時間の監視業務のため3直4交代制のシフト勤務となり、一定の要件を満たした機械職員が従事します。よって、採用にあたってはシフト勤務（夜勤）ができることが条件となります。

機械職員が勤務する職場

機械職員は、全国の空港事務所や東京・大阪の地方航空局、東京霞ヶ関の本省航空局等で勤務しています。

北は北海道札幌市から、南は沖縄県那覇市までの広範囲にわたっていますので、**全国異動ができること**が採用の条件となります。

採用場所については、大卒程度試験の受験者の場合は、全国の事務所等、高卒者試験の受験者の場合は、試験地域にある空港事務所等となります（高卒者試験地域が九州の場合は、福岡空港、鹿児島空港などの九州にある空港事務所等となります）。



組織別の機械業務概要

本省 (国土交通省 航空局)

航空行政を担う中央組織であり、「事業の企画・調査」、「予算要求」及び「機械施設や特殊車両の共通仕様、積算基準、業務処理規定類などの基準類の制定」、「研修の企画」、「国会対応」、「各種会議及び委員会の開催」等を行っています。



地方航空局 (東京航空局・大阪航空局)

国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な機械施設の新設や更新に係る予算要求、計画・設計及び工事等を行っています。また、特殊車両に関する調査、設計、製造等の業務も行っています。

調査・計画



設計



積算



契約手続き



監督



検査



完成(完了)



空港事務所・航空交通管制部等

国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な電源設備などの機械施設の管理・運用・保守及び、消火救難車両などの特殊車両の保守を行っており、保守業務等を業者へ発注するための仕様書の作成や積算業務、発注後の受注者への監督・検査などの業務を行っています。



仕事の流れ(工事、製造、点検整備など)

調査・計画



機械施設の新設や更新工事、保守を行うための調査、スケジュール調整、関係者との調整を行い計画を策定します。



計画会議



設計現地調査

設計



機械施設の工事や保守を行うための仕様などについて設計検討し、仕様書や発注図面を作成します。



設計・積算業務

積算

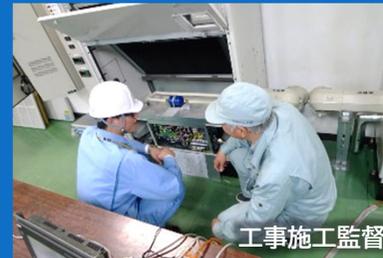


工事や保守を行うための適正な費用について算出します

契約手続き



工事や保守を実施するため、専門業者と契約を結ぶ手続きを行います。



工事施工監督



消防車性能試験立会



点検整備監督

監督



工事や保守が適切に行われるように受注者への指導、関係者等の調整、提出された書類の確認などの監督業務を実施します。

検査



工事や保守が適切に行われたか検査を実施します。



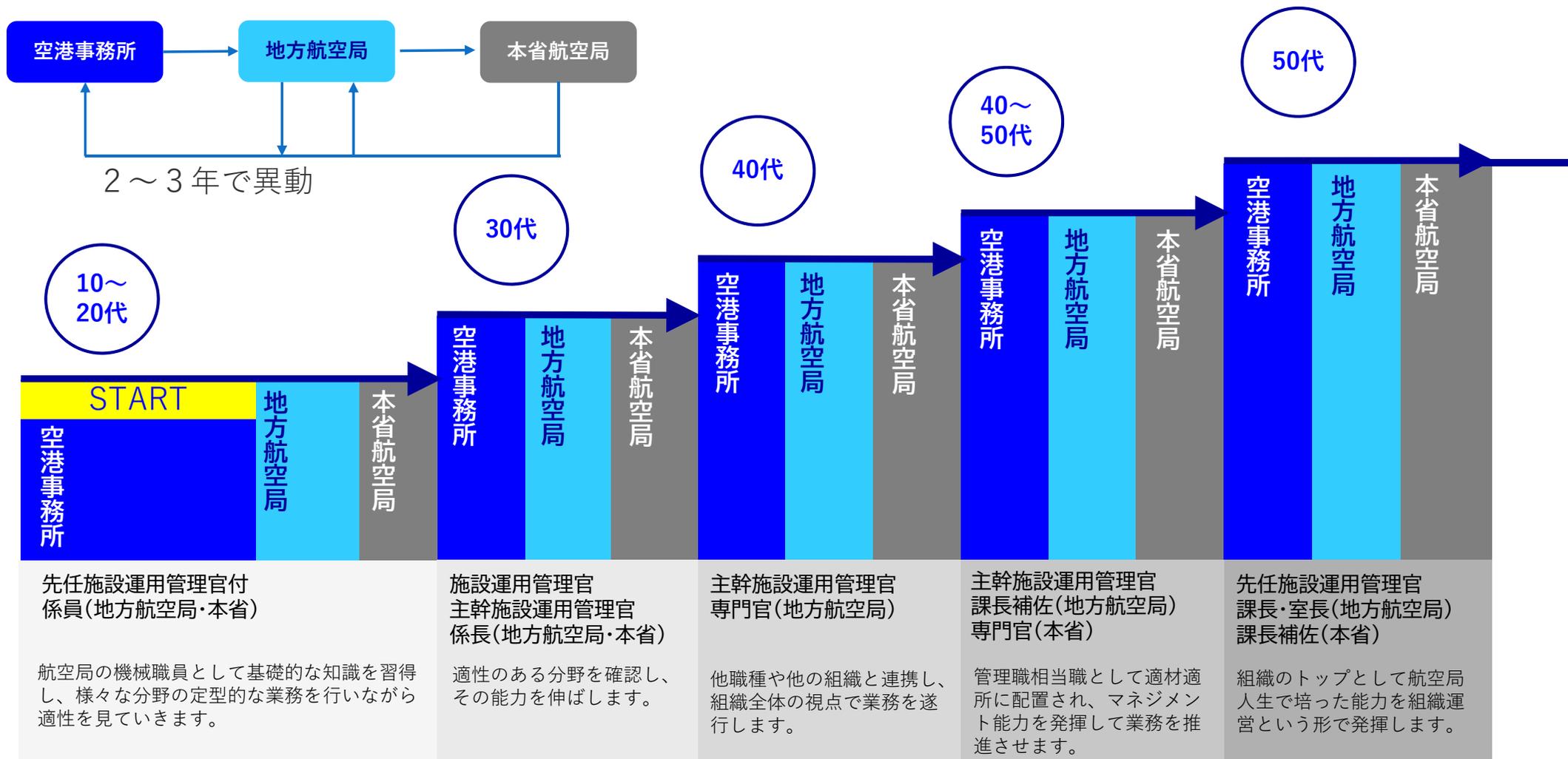
製造工場検査



工事完成検査

完成(完了)

キャリアプラン



標準キャリアモデル

機械職員の研修



役職

- 航空保安業務基礎研修
- 空港機械施設（基礎）研修
- 空港整備・管理運営研修
- 空港技術者（初級）研修
- 交通管制機械業務特別研修（機械システム）

係員
・
前任施設運用管理官付

係長
・
施設運用管理官

専門官
・
主幹施設運用管理官

課長
・
前任施設運用管理官

(採用) (30歳) (40歳) (50歳) 経験

- 空港機械施設（応用）研修
- 空港技術者（中堅）研修
- 交通管制機械業務特別研修（システム管理）

- 空港技術者（上級）研修
- 交通管制機械業務特別研修（管理技術）（教育訓練）（予備電源）

- その他
- 空港技術災害対策研修
 - 航空保安業務安全管理担当者特別研修
- e t c

■ 前任施設運用管理官研修

- ・ 機械職員には工学的基礎知識や機械業務の専門知識・技能に加え、空港や航空管制に関する知識など、「幅広い知識」、「専門的スキル」、「安全を優先する姿勢」などのスキルが必要となります。
- ・ また、国家公務員としての公務員倫理や役職に応じたマネジメント能力の習得も必要です。
- ・ そのため、こうした必要なコンピテンシー（「知識」や「技能」、「姿勢」）を習得できるよう、世代別・業務別・役職別に様々な研修を設けています。
- ・ こうした研修は、宮城県岩沼市の「航空保安大学校岩沼研修センター」や千葉県柏市の「国土交通大学校柏研修センター」などで実施しています。



機械業務の経験を生かした業務

【技術審査業務】

工事の品質確保などへの対応



発電設備工事完成検査



空機調和設備工事完成検査

【安全監督等業務】

交通管制・空港の安全監督、航空保安（セキュリティ）への対応



監査業務（書類）



監査業務（現場）

【国際関係業務】

国際協力、空港分野のインフラ
国際展開などへの対応



モンゴル チンギスハーン国際空港



国際協力業務（ベトナム空港会社）

【災害対応】 TEC-FORCE 緊急災害対策派遣隊

緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組みます。

＜東日本大震災における仙台空港の状況＞



2011. 3. 11



大震災2日後 2011. 3. 13



大震災13日後 2011. 3. 24



庁舎の発電装置は津波による被災で使用できず



移動式発電装置を設置



空港の運用に必要な電源を確保

空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対応、空港の安全監督など、機械業務で身につけた知識・経験を生かして、航空局が担う様々な役割・業務に従事することがあります。

機械業務の経験を生かした業務

【計画業務】国の施策や新たな行政ニーズへの対応 脱炭素化の推進

空港における脱炭素化の推進



- 学識経験者等で構成する「**空港分野におけるCO2削減に関する検討会**」をR3.3に設置。
- R3.8から21空港において「**重点調査**」を進めるとともに、空港関係者と脱炭素技術等を有する企業の協力体制構築のための「**空港脱炭素化プラットフォーム**」をR3.9に設置（現在300者が登録）。
- R4.2に**空港脱炭素化の全体目標および工程表を策定**。
 <目標>2030年度までに、各空港で4.6%以上の削減（2013年度比）および再エネ等導入ポテンシャルの最大限活用により、**空港全体でカーボンニュートラルの高みを目指す**。
- R4.3に各空港で作成する計画の**ガイドライン[初版]**を策定。
- 検討会の下に「**空港建築施設の脱炭素化に関する検討WG**」及び「**空港における太陽光パネル設置検討WG**」を設置。
- R4.6に**航空法・空港法等の一部を改正する法律案が成立**（国による基本方針の策定及び計画認定制度の創設）
- 本年度以降は、**各空港における脱炭素化推進計画**の策定を推進するとともに、**空港脱炭素化推進事業**（設備導入支援、モデル実証等）を開始。また、**事業推進のためのマニュアル（仮称）**を策定予定。

空港脱炭素化の工程表における主な取組内容

①空港施設・空港車両からのCO2排出削減



②地上航空機からのCO2排出削減

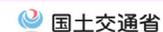


③再エネ拠点化



空港脱炭素化推進のイメージ

空港におけるCO2排出量の現状

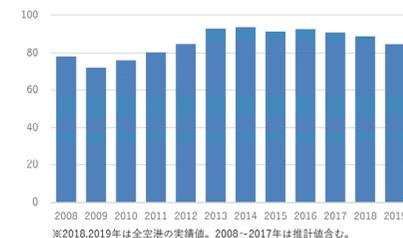


▶ 我が国の空港において排出される温室効果ガスは、その大部分がCO2であり、2019年度における空港施設・空港車両からのCO2排出量は約85万トン/年と推計。

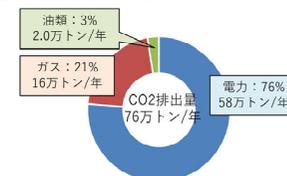
●国内空港におけるCO2排出量内訳 (2019年度推計値)

大項目	小項目	国内全空港排出量
空港施設	照明、空調等	74万トン
	航空灯火	2万トン
空港車両	GSE車両等	9万トン
空港施設・空港車両計		85万トン
【参考】航空機 (地上)	駐機中	43万トン
	地上走行中	126万トン

●空港施設・空港車両からの排出量推移



●空港施設からの排出量 (エネルギー別使用割合)



【2030年度までの目標】

2030年度までに、省エネ・再エネ導入により、各空港において温室効果ガス排出量4.6%以上の削減（2013年度比）を達成することを目指します。

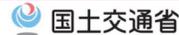
【2050年度までの目標】

2050年度に向けては、開発状況を踏まえつつ、次世代型太陽電池や高出力の空港車両のEV・FCV化等の新たな技術の活用を促進するとともに、更なる炭素クレジット創出や利用拡大を図ります。

機械業務の経験を生かした業務

【計画業務】国の施策や新たな行政ニーズへの対応 航空イノベーションの推進

自動運転に関する取組について



- 自動運転L4相当（無人・完全自動）の導入は2025年までを目標とするが、共通インフラや運用ルール等の検討状況も踏まえつつ、可能な限り前倒しでの導入を目指す。
- 2021年度よりL4相当の導入に向けた実証実験を開始。L3相当（有人・緊急時介入等有）についても、導入空港を拡大するとともに、L4相当の導入に向けた検討に活用する。

空港除雪の省力化・自動化の取組



現在、我が国の空港では、2030年の訪日旅客6,000万人の目標達成に向けて、積極的な機能強化が進められている一方で、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足が顕在化している。航空局では、この課題に対応するため、官民が役割分担しながら、IoT・AI・自動運転化技術等の先端技術を活用した『航空イノベーション』を推進し、今後の航空輸送の拡大を支えていく方針である。空港運用分野においては、深刻化している除雪作業の労働力不足への対策として、除雪車の運転や操作の省力化・自動化に取り組んでおり、令和2年度から実証実験を実施している。

第一段階（省力化※1） ※1：2名/台 → 1名/台体制

- 【R2年度(実施済)】「積雪」「降雪」状況で自車位置測定技術の確認を実施。
- 【R3年度(実施済)】実車(除雪車)に自車位置測定装置等を装着し、運用上の課題検証を実施。
- 【R4年度】新潟空港ブラウ除雪車2台への運転支援ガイダンスシステム導入。使用状況をもとに今後の導入計画、システムの改良等の検討を実施。

第二段階（自動化※2） ※2：車両運転や装置操作の自動化を目指す。

- 【R4年度】除雪車メーカー及び車両メーカーの技術開発動向を調査し、除雪装置の自動化に関する実証実験内容を策定。
- 【R5年度以降】自動化に関する技術動向を踏まえ実証実験を実施予定。



ブラウ除雪車 スーパー除雪車 ロータリ除雪車 凍結防止剤散布車



インバウンドの増大をはじめとする航空需要の拡大、空港間競争の激化、セキュリティを巡る脅威、生産年齢人口減少に伴う人手不足など、我が国航空輸送を巡る課題へ対応しつつ、利用者目線で世界最高水準の旅客サービスを実現するため、自動化・ロボット、バイオメトリクス、AI、IoT、ビッグデータなど先端技術・システムの活用による我が国航空輸送産業におけるイノベーションの推進を図ります。

女性職員活躍とワークライフバランス推進

国家公務員の女性活躍とワークライフバランス推進のための取組指針」（平成26年10月17日）

女性職員の活躍は、「女性が輝く社会」、「男女共同参画社会」を実現し、人材の多様性を活かして政策の質や行政サービスを向上させるという総合的な視点から推進します。

このため、男女全ての職員の「働き方改革」によるワークライフバランス（WLB）の実現が不可欠として各府省の大臣、事務次官等のリーダーシップの下、推進を進めます。

国土交通省の取組計画

女性職員活躍と職員とワークライフバランスの推進のための国土交通省取組計画

<取組計画のポイント>

- ①国土交通省の働き方、変えます。
 - 月に1日以上「残業ゼロの日」の徹底や「ポジティブ・オフ」の促進により、超勤縮減と休暇取得をさらに推進。
 - 夜間や休日においても自宅でテレワークができる環境を整備することにより、勤務時間や場所など、勤務形態の多様化を推進。
- ②育児・介護に優しい国土交通省へ
 - 「すくすく育児帳」・「いきいき介護帳」を導入し、育児・介護をしている職員の状況・意向を把握。
 - 育児休業取得中の職員を含めた育児経験職員による交流サイトを設置。
 - 本省に設置した保育所の利用支援を拡充。
- ③女性がますます輝く国土交通省へ
 - 特に、技術系女性職員採用の裾野を広げるため、理工系大学を志す女性を増やす取組を強化。
 - 女性の登用だけでなく、就任ポストの範囲も拡大。

★女性職員を積極的に採用します★

航空局機械職種の女性活躍推進

- ・ 技術系（機械）女性職員の採用を推進します。
- ・ 育児、介護等の両立を支援します。
- ・ 配置場所を考慮するなどキャリアパスの検討や勤務形態について配慮します。
- ・ 技術系（機械）女性職員のキャリア形成を支援し、意欲の向上を図ります。

先輩職員インタビュー



仙台空港事務所（取材当時）
C 施設運用管理官（男性）

今の仕事の内容の難しさややりがいはい どんなところですか？

予備電源設備に関する整備や工事の計画管理、発注及び監督を担当しています。

普段は事務室でデスクワークをしていますが、作業の監督や検査などのため、空港内などの現場へ出張することも多いです。仕事を進めるうえで、常に緊張感を持つとともに、関係者によく協議をしていくことが不可欠です。

設備の更新などでは大がかりな工事を行う必要がありますので、空の安全に影響を及ぼさないよう、特に慎重に計画しなければなりません。ですが、安全に工事が完成し、新しくなった設備を見れば、やり遂げたという充足感に浸ることができます。

転職に伴う引越は大変ですか？

新しい土地には新しい出会いがあります。

それは人との出会いだったり、あるいは趣味との出会いだったり様々ありますが、自分の価値感が変わるような良い出会いがたくさんありました。

しかし、住み慣れた土地からの引っ越しは、心と体に負担がかかることもあるので、あまり張り切りすぎないことも大切ではないでしょうか。

受験者へのメッセージ

機械業務は空の安全の土台であるとともに、防災上の最後の砦でもあります。

自分たちが空の安全を支えていることを忘れず、一定の緊張感を持って仕事に臨むことが大切です。共に働く日を楽しみにしています。

機械職の業務の魅力について

大阪航空局では空気調和設備、空港用特殊車両などの発注・設計・工事業務を行っています。

業務の幅が広いので、希望すれば興味のある業務に携わることができると思います。

また、大阪航空局だけでなく各空港事務所・管制部にも機械職員は配置されているため、たくさん選択肢があることが魅力です。

北から南までの各地に空港や無線施設があるため、今まで1度も行ったことが無かった離島などに行く機会があり、その土地ならではの風景や食べ物を楽しんだりしています。

職場の雰囲気は？

大阪航空局で勤務しており毎日忙しく業務をしています。職場は同年代の方が多いため分からないことを聞きやすく、自分の意見をしっかりとと言える環境だと思います。

他課の女性職員とのつながりもあるため、課に女性がいないからと困ったことはありません。

やりがいのある仕事

自分自身で一から設計し、工事が完成したときにやりがいを感じます。

現場に赴き、現状の課題を整理し設計に反映させ工事をすることで、自分で作ったという経験ができるので達成感を感じることができます。

転職の楽しみやメリット

引っ越しを伴う異動はしたことがありませんが、転職することで新しい業務に携わることができます。

私は採用1年目は空港事務所勤務で設備を維持管理する業務をしていましたが、2年目に大阪航空局に異動となり工事監督や設計業務をしています。

携わったことがない業務を経験することで自分の能力を高めることができ、次の業務に生かすことができると思います。



大阪航空局 機械課
（取材当時）
A 係員（女性）



先輩職員インタビュー



那覇空港事務所
M 前任施設運用管理官付（男性）

志望動機は？

私は、工業高校在籍時、工業系の企業や工場に就職することを考えていましたが、公務員という人に尽くす仕事に興味を持ち、消防士や警察官、自衛隊の他にも多くの職種があることを知り、国土交通省航空局を志望しました。

那覇空港は施設規模も大きく、離島（久米、宮古、下地、石垣、与那国、南大東、多良間）空港の非常用発電設備や航空無線施設用空気調和設備も管理しています。そのため多くの機械職員が在籍しており、色々な業務経験ができるため、那覇空港事務所への異動を希望し、勤務しています。

現在の仕事の紹介

那覇空港は本島施設の他、離島空港の航空無線施設用空気調和設備や、空港用の化学消防車の保守運用及び管理を担当しています。

航空機に搭乗する度、窓から、航空無線用施設や空港用化学消防車が見え、航空機運航の「安全」に貢献できる、とてもやりがいのある仕事だ！と実感しています。

国家公務員を目指す方へのアドバイス

私たちが普段行っている業務で航空機が安全に運航でき、航空機を利用される方のために貢献できる、とてもやりがいのある仕事です。また、これからさらに躍動していく日本の空を支える仕事です。是非、国土交通省航空局と一緒に働きましょう！

体験談

那覇空港事務所は出張が多々あるので、離島先のホテルやお店で、その島ならではの食べ物や風景を見るのが楽しみになっています。また、航空局は「男の育休・産休」にも力を入れており、出産のサポートや子育て等にも専念できます。私も、第3子の誕生後、約1ヵ月程の育児休暇を取得しました！



大阪航空局 管制技術課
O 係員（男性）

受験者へのメッセージ

空港や航空保安施設の予備電源設備の更新整備事業を主に担当しております。

様々な場所に出張し、独自の設備や地域の特性を生で感じ、業務に活かせるのがとても楽しいです。

皆様と一緒に働くことを楽しみにしております。

鹿児島空港事務所（取材当時）
F 前任施設運用管理官付（女性）

機械職の業務の魅力について

機械職員として、現在、航空機が安全運航するために必要な非常用発電設備や空気調和設備、空港用化学消防車等の保守及び管理を担当しており、定期的な保守によって災害時でも、問題無く電源供給し運用されている時にやりがいを感じます。



FAQ よくある質問

Q 1

どのような人を求めていますか？

目的意識を持って行動でき、何事に対しても好奇心を持ち、常に感性のアンテナを張りめぐらしている人です。仕事を行う上では、周囲と協調しながら、プレッシャーを乗り越えて活躍できる人材を求めています。

Q 2

資格は必要でしょうか？

国家公務員採用試験に合格すれば、その後の選考においては機械に関する専門的な技術や知識、資格が直接的に影響することはありません。業務自体が機械に関わる為、少なくとも機械に関する強い興味・関心があれば、より望ましいでしょう。

Q 3

官庁訪問しないと採用されませんか？

「官庁訪問」とは受験者が志望する官庁を訪問し、各官庁の職員から業務説明や面接などを受けていただくもので、志望する官庁に採用されるための重要なステップ（採用選考活動）となります。国家公務員採用試験の最終合格が採用とはなりません。

航空局機械職への採用を希望される場合は、官庁訪問（業務説明及び面接など）をしてください。

Q 4

航空局の魅力を教えてください

空港事務所では空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を横目で見ながらの勤務を経験し、地方航空局や本省航空局では航空行政に関する企画・立案業務を経験し、日々発展していく「航空」の世界のスケールの大きさを肌で感じながら成長していくことができます。また、多様な職種と全国の様々な地域の仲間との出会いが多いため、交友関係の幅も広がります。

Q 5

転勤について教えてください

各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。

転勤は2～3年ごとにありますが、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することができます。

Q 6

勤務時間はどうなっていますか？

1日の勤務時間は7時間45分です。
土日・祝日が休日となります。

勤務時間は原則8時30分～17時15分（昼休1時間）、本省や地方航空などでは勤務時間（9時00分～17時45分など）を選択できる官署もあります。

空港事務所の勤務において施設の点検を空港の運用や航空機の運航への影響を考慮して夜間を実施するため、これに立ち会う場合があります。

また、空港事務所の一部の職員は24時間の交替制勤務で業務を行っています。

Q 7

機械職の職員数を教えてください

航空局の機械職の職員数は230名程度、女性職員は5名の職員が活躍しています。

Q 8

航空機の整備等に携わることはできますか？

普段の業務で航空機の整備等に携わる業務はありません。また、同じ航空局内の航空機検査官との人事交流もありません。

採用に関する問い合わせ先

本資料の内容、採用等に関して、ご不明な点やご質問などがございましたら、些細なことでも、メールかお電話にてお気軽にお問い合わせください。



国土交通省 大阪航空局 空港部 機械課

課長補佐 大泊（おどまり）

TEL 06-6937-2735

E-mail cab-saiyou.kikai@ki.mlit.go.jp

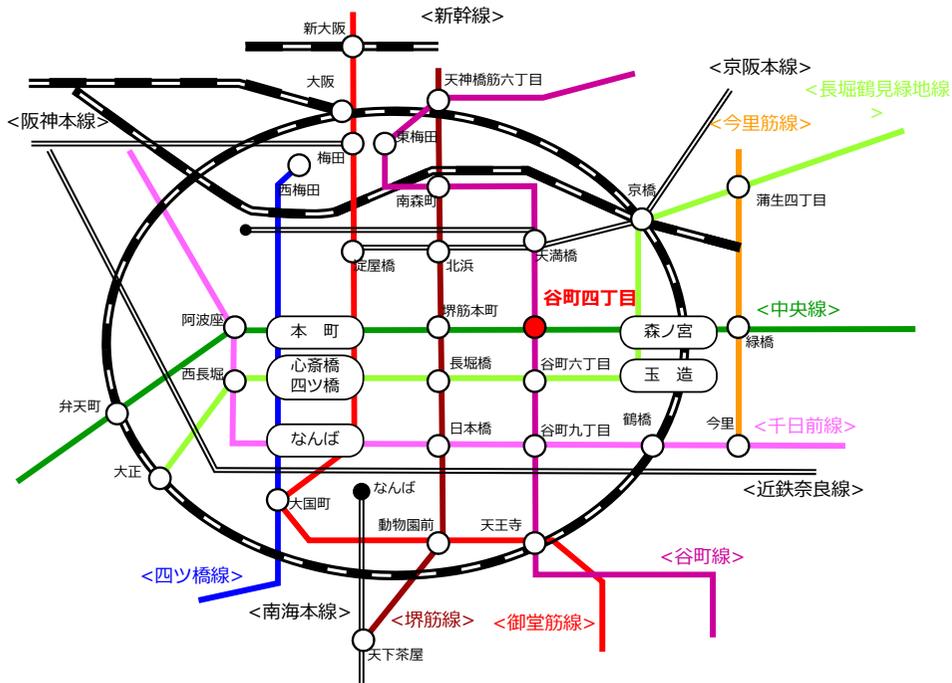
※メールでのお問い合わせの場合、下記内容について、ご記載願います。

- ①お名前（ふりがな）
- ②お電話番号（ご自宅・携帯）
- ③お問い合わせ内容

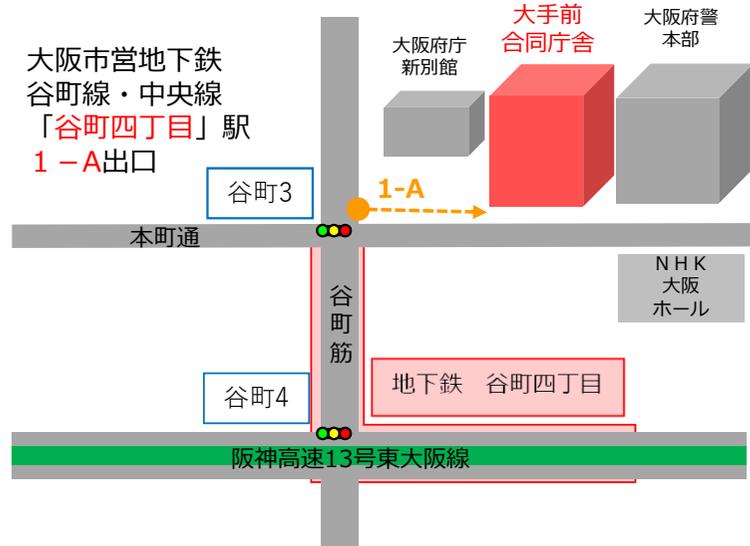
※お問い合わせ頂いた内容は、当局の掲げる個人情報保護方針に沿って管理し、ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。

国土交通省大阪航空局案内図

付近路線図



付近案内図



〒540-8559
 大阪府中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎 11階
 TEL: 06-6937-2735

Civil Aviation Bureau
国土交通省 航空局



 大阪航空局 空港部 機械課